

学校通信 令和4年4月15日 4月号

白子中学校

鈴鹿市立白子中学校

TEL: 386-0336 FAX: 388-0340

E-mail: shiroko-j@edu.city.suzuka.lg.jp



本年度のテーマ

～夢～



令和4年度 スタート！！

ご進級・ご入学おめでとうございます！

お子様のご進級・ご入学、おめでとうございます。

4月6日(水)午前中に着任式・始業式を行い、2年生・3年生の皆さんが元気に登校しました。また、7日(木)は1年生303名が入学しました。

三重県最大の白子中学校生徒889名の令和4年度がスタートしました。生徒たちは、登校時に昇降口でのクラス発表に盛り上がり、新しい教室で新しい仲間や担任の先生と出会い、新たな気持ちでスタートをしました。

始業式では、2・3年生の皆さんに、今年一年がんばってほしいことと、考えてほしいことを話しました。

まず、がんばってほしいことは、「**自主的に**行動する」ことです。

学習は「させられている」や「うるさく言われるからする」のではなく、自分で考えて「必要だからする」、「弱みを克服するためにする」など、自分から考えて自主的に学習を進めて欲しいと思います。部活動も同じで、先生が見ていない時や休みの時に、「自分で考え、努力する」自主的な練習や活動が大切ですね。

また、本年度は「そうじ」にも力を入れたいと思っています。

来年度、西館から校舎の大規模改修工事が始まります。美しくきれいな校舎に生まれ変わります。いま皆さんが学んでいる校舎は、とても古くトイレも美しいとは言えませんが、この校舎が建って40年以上の間、多くの卒業生や皆さんの学びを支えてくれた伝統ある校舎です。その校舎が改修になります。その伝統ある校舎に対して、感謝の気持ちを込め、自ら進んで清掃活動をしてほしいと願っています。



次は、皆さんに考えてほしいことです。今年のテーマは「**夢**」です。皆さんは「将来の夢は何？」と聞かれて答えられますか？ぜひ考えてほしいです。自分の「夢」を見つけ、その夢の実現に向かって、「いつ、何をするか」を考え、コツコツと努力してほしいと思います。

【本年度のテーマ： ～夢～】

「学級開き」では、教室で「夢」を語ってくれた先生もいました。生徒の皆さんも先生も保護者の皆様も「笑顔でお互いの夢を語り合える1年となりますように！」協力し合っていきましょう。お願いします！



入学式では、生徒たちに次のような話をしました。
1つめは、「あいさつ」です。

白子中学校の生徒は、きちんとあいさつができると、先生方や地域の方々から聞いています。もっともっと気持ちのいいあいさつができる学校にしたいと思っています。「目を見て笑顔であいさつ」をしてほしいです。



2つめは、「学習」です。

学校での「学習」は勉強だけで学び習うことではありません。授業はもちろんですが、部活動・生徒会活動など、学校生活すべてで学び習うものです。勉強への切り替えをはじめ、中学校生活で「最後まであきらめず、粘り強く学習に向かって欲しい」と思います。

3つめは、「命を大切にする」ことです。

友だちや家族、地域の人、先生など、皆さんのことを大切にしてくれる方々に対して、「ありがとう」の感謝の気持ちをもった、自分の命も他人の命も大切にする人となってほしいと思います。



『対面式』(生徒会主催)

4月8日(金)、本年度の前期生徒会役員が準備して、入学した1年生との「対面式」を開催しました。残念ながら新型コロナウイルス感染症対策で「密」を避けるため、2年生は、教室でのリモート参加となりました。

生徒会役員の皆さんは、春休みから「何をどのように伝えようか」と話し合いを始め準備をしてくれました。執行部の寸劇「あいさつ」「そうじ」「壁画」は、白子中学校が大切にしたい取組で、その思いをしっかりと伝えてくれました。執行部の皆さん、ありがとう。

始業式の日に、2・3年生の皆さんに、「1年生に対して、正しいことをやさしくていねいに教えてあげてください」とお願いをしました。わからないことがあったり、心配なことがあったりしたら、遠慮せず、先輩に聞いてみてください。きちんと教えてくれます。

最後に、「カランコエ」という花をプレゼントしてくれました。花言葉は「たくさんの小さな思い出」です。教室に飾り、その咲く花のようにたくさんの素晴らしい思い出を作っていて欲しいと思います。皆さんで大切に育ててください。



令和4年度 学校経営方針

I 学校教育目標

豊かな人間性をもち、進んでやりぬく生徒の育成

II めざす学校像

全ての子どもたちの居場所となれる安心できる学校

III めざす生徒像

- (1) 失敗を恐れず自ら深く学び、目的を持ち主体的に行動する生徒
- (2) より良い結果を求め、創造・思考・挑戦する生徒
- (3) 互いを認め合い、尊重し合うことのできる人権感覚あふれる生徒